



「秩父路3号三峰口へ」  
皆野中2年

五野上 愛さん



(本人のコメント) 夏の晴れた朝の日常を描きました。

「森のきつね」

国神小2年

新原 楓愛さん



むかしむかし、あるところに、ひろい森がありました。そこには、たくさんのおうぶつたちがおすんでいました。そのとうぶつの中に、もつともいじわるなきつねがいました。きつねは、「この森は、オレのものだ。」と言って、いばりました。「ちがうよ。ここは、みんなの森だよ。」どうぶつたちが言いました。「うるさあい。」きつねが言いました。ある日、みんながそうじをしていました。きつねは、すきにしているだけでした。「きつねくん、どいてくれよ。」くまが言いました。「うるさあい。」きつねが言いました。みんなそうじをしながら、きつねにもんくを言いました。つぎの日、森のみんなは、またそうじをしました。でも、やつぱりきつねはすきにしていきました。きつねが言いました。「あーあー。つまらないの。」きつねは思いました。「みんなたいへんそうだな。オレも、てつだおうかな。よし、きめた。あしたか

ら、みんなのお手伝いをするぞ。」つぎの朝、きつねは、朝早く森のみんなをあつめて言いました。「みんな、ぼくは今日から、みんなのお手伝いをするよ。」森のみんなは、いっきにもり上がりました。きつねは、いっしょうけんめいはたらきました。はじめにそうじを手つだいました。つぎに、うさぎさんのいえをペンキでぬってあげました。きつねは、ほかにもお手つだいをしました。きつねは、みんなに「ありがとう。」と言われて、うれしくなりました。それからつぎの日も、つぎの日も、なんでもみんなのお手つだいをしました。ある夜に、きつねのためにパーティがひらかれました。きつねは、大よろこびでした。それからきつねは、友だちが多くなりました。(評) 国語の学習で、きつねの出てくるお話をつくりました。おもしろいお話が上手にできましたね。

「あさがおであそびとたち」

皆野小1年

富田 凌央さん

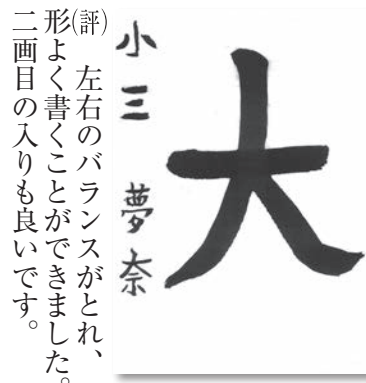


(評) あさがおであそびとたちのようすを上手に描けました。



三沢小3年

小門 夢奈さん



皆野小5年

引間 心優さん

